

秋田工業高等学校	募集 定員	機械科（70名）、 電気エネルギー科（35名）、 土木科（35名）、 建築科（35名）、 工業化学科（35名）												
求 め る 生 徒 像														
本校は、校訓「質実剛健」の下、生徒一人一人の人格の完成を目指すとともに、工業分野において地域社会及び日本や世界に貢献する人間の育成に向けた教育活動を実践している。各学科では、技能習得と資格取得に力点を置いた専門教育の中で、「ものづくり」の意義を理解し実践と創造を重んずる生徒の育成を図っている。また、普通教科の学びの中で論理的思考力や国際性・社会性等を高め、さらに部活動や諸行事において主体性や社会性を育んでいる。 以上のことから、次の1～3に当てはまる生徒を求める。 1 人物に優れ、何事にも主体的に取り組み社会に貢献しようとする意欲のある生徒。 2 学業成績が優秀であり、工業分野の学びに強い意欲をもっている生徒。 3 体育的・文化的活動等において優れた資質・能力を有し、入学後も学業と両立させながら継続して活動する意欲のある生徒。														
募集人員・出願の条件・配点・面接の形態等・選抜方法・その他														
特色選抜	募集人員 機械科28名 機械科以外各14名													
出願の条件 学業成績・人物ともに優秀で、次の1、2の両方に当てはまる生徒の出願を認める。 1 工業分野の学びに強い意欲と関心をもっている生徒。 2 体育的・文化的活動（部活動や学校外団体）において、全県大会出場以上の実績、若しくはそれと同等の優れた資質・能力を有し、入学後も本校で活動している部活動に所属し中心的存在として活躍できる生徒。 配点（合計 700点） <table border="0"> <tr> <td>1 学力検査</td> <td>250点</td> <td>（5教科の検査得点の合計500点満点を250点満点に換算）</td> </tr> <tr> <td>2 調査書</td> <td>100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td>250点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 活動報告書</td> <td>100点</td> <td></td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を2回実施する。 選抜方法 高等学校長が、学力検査の成績、調査書、志願理由書、活動報告書及び添付書類、面接の評価に基づき、総合的に判断して選抜する。 その他（活動報告書に対する指示等） 1 活動報告書「2 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」の欄には、大会実績上位から順に2つ以内を記入すること。 2 活動報告書「2 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」の「その他」の欄には、部活動等において、あなた個人がもっている特に優れた資質・能力と、高校入学後の部活動に対する目標や抱負などを200字程度で記入すること。			1 学力検査	250点	（5教科の検査得点の合計500点満点を250点満点に換算）	2 調査書	100点		3 面接	250点		4 活動報告書	100点	
1 学力検査	250点	（5教科の検査得点の合計500点満点を250点満点に換算）												
2 調査書	100点													
3 面接	250点													
4 活動報告書	100点													
一般選抜	募集人員 機械科42名 機械科以外各21名													
配点 <table border="0"> <tr> <td>1 学力検査</td> <td>500点</td> <td>（国語、数学、英語、理科、社会 各100点）</td> </tr> <tr> <td>2 調査書</td> <td>195点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td colspan="2">A～Cの段階別評価とする。</td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接1回を実施する。特色選抜を併願している場合は、特色選抜の集団面接をもって一般選抜の面接に代える。 選抜方法 高等学校長が、次の1と2に基づき、総合的に判断して選抜する。 1 学力検査の検査得点の合計と調査書点を基に作成した相関表。 2 調査書の記載内容及び面接の評価に関する資料。			1 学力検査	500点	（国語、数学、英語、理科、社会 各100点）	2 調査書	195点		3 面接	A～Cの段階別評価とする。				
1 学力検査	500点	（国語、数学、英語、理科、社会 各100点）												
2 調査書	195点													
3 面接	A～Cの段階別評価とする。													